

原子力人材育成ネットワークダイバーシティ推進ウェビナー

「国際舞台で培った視点 – 新ISCN初代センター長が語る原子力の未来」

(国研) 日本原子力研究開発機構

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター (ISCN)

センター長(工学博士)

井上 尚子 (Naoko INOUE)



アウトライン

- ▶ ゼっと自己紹介
- ▶ 1回目の海外赴任：米国ニューメキシコ州の国立研究所
- ▶ 1回目の海外赴任を終えて～
- ▶ CTBTOについて
- ▶ 2回の海外赴任：国際機関(CTBTO・ウィーン)
- ▶ CTBTOからJAEAへ
- ▶ 旧ISCNセンター長から新ISCNセンター長に
- ▶ センター長として思うこと
- ▶ 次の世代の皆さまに役に立つ（立たない）かもしれないポイント

ザっと自己紹介(1/2)

- ▶ 山口県山口市（小郡町）出身
- ▶ 大学～院修士課程は理学部化学科（放射化学）**環境放射能**
 - ▶ 環境試料中のガンマ線放出核種、トリチウム、テクネチウム-99の分析と環境中の挙動
- ▶ 1991年4月旧動燃入社 大洗で環境放射線監視業務
 - ▶ 1992年結婚、93年長男、95年次男出産
 - ▶ 94年～夫の単身赴任に伴いワンオペ
- ▶ 2001年～2002年(1.5年) **米国サンディア国立研究所**

Visiting Research Scholar

- ▶ 帰国後に異動、**核不拡散・保障措置技術開発**
 - ▶ 核拡散抵抗性評価手法開発：次世代核燃料サイクルの核不拡散性評価手法開発、GeIV核拡散抵抗性・核物質防護評価手法WGメンバー、日米共同研究の窓口
- ▶ 2011年3月 **博士号取得**(東大・原子力国際専攻)
- ▶ 2013年 福島タスクフォース**燃料デブリ計量管理技術開発**
- ▶ 2013年12月～2019年9月 **CTBTO(包括的核実験禁止条約機関) 放射性物質専門官**

ザっと自己紹介(2/2)

- ▶ 2013年12月～2019年9月 CTBTO(包括的核実験禁止条約機関)

放射性物質専門官

- ▶ 2019年10月 **JAEA (旧)ISCN** アジア向け2S 人材育成支援を行うところの室長(課長)

- ▶ 2021年7月 技術主席 (次長級)

長男就職

- ▶ 2023年7月 副センター長 (次長)

次男就職

- ▶ 2024年4月 センター長 (部長)

- ▶ 2025年4月 新ISCN発足 初代センター長

- ▶ 2026年3月 役職定年予定

長男 大学～大学院
(交換留学)

次男 高校～予備校
～大学

1回目の海外赴任：米国ニューメキシコ州の国立研究所

- ▶ 2001年1月～2002年7月(1.5年)米国サンディア国立研究所Visiting Research Scholar
 - ▶ 環境放射線データのリアルタイム公開（日本語・英語）
 - ▶ 自分でSNLとの共同研究を立ち上げて自ら派遣
 - ▶ アジア太平洋地域の環境放射線データを公開している組織を見つけて交渉してデータを提供してもらって1つのウェブサイト
- ▶ 「母子海外赴任」：長男7歳、次男5歳
 - ▶ 最初の半年程度は子供たちは苦勞、その後はニューメキシコ州の自然・歴史・文化を満喫
- ▶ 学んだことは仕事・子ども関係ともに膨大
 - ▶ 米国国研の仕事の仕組み、スポンサー（エネルギー省、NGO）との関係、論文、9-11とその後のアフガン戦争
 - ▶ 息子たちの躰のやり直し（公共の場におけるふるまい）
 - ▶ 「この年頃の子供が自分に自信がもてるかどうかが一生涯を左右する」



1回目の海外赴任を終えて～

- ▶ **何となく「次は国際機関(IAEA)に行きたい」**
 - ▶ 博士課程に社会人入学、学位取得後、CTBTOに絞って応募
 - ▶ **自分の強み**は①核不拡散分野の国際共同研究プロジェクト経験と②専門性(環境放射能)
 - ▶ **3つ目のポスト**で採用
- ▶ 2013年12月～2019年9月 (6年弱) CTBTO 放射性核種専門官

CTBT(包括的核実験禁止条約)

宇宙空間、大気圏内、水中、地下を含むあらゆる空間での核兵器の実験的爆発及びその他の核爆発を禁止

現在、**未発効**（署名国：185ヶ国、批准国：170ヶ国）

核兵器国、潜在的な核兵器開発能力を有する**44ヶ国**が批准しなければ発効しないが、現在はうち**36ヶ国**しか批准していない。**残る9か国は・・・**

未署名国(3)：インド、パキスタン、北朝鮮

未批准国(6)：中国、エジプト、イラン、イスラエル、米国、**ロシア**

日本：1996年9月：署名（署名開放と同時）

1997年6月：炉規法改正と国会承認

7月：批准

地球上での核実験を探知するための国際監視制度(IMS)を整備

認証済み監視観測施設(地震波、微気圧振動、水中音波、放射性核種の4種類)：**302ヶ所(89.6%)**、最終的には337ヶ所

放射性核種モニタリングステーション（80か所）、ラボ（16か所）

2 回目の海外赴任：国際機関(CTBTO・ウィーン)

▶ 放射性核種専門官としての担当

- ▶ 世界に16か所あるラボの品質保証プログラム（技能試験演習とその結果評価、政策決定会合への報告）
- ▶ **ガイドライン改訂**：企画立案、コンサルタントの雇用、戦略的な計画立案・内外調整、実行と進捗管理、加盟国間の合意形成
- ▶ 放射線核種モニタリングステーションのサイト調査、導入、認証（カナダ、日本、オーストラリア、**ニジェール**）

▶ プロマネへの自信と「助けてもらえる」ことへのありがたさ

- ▶ プロジェクトマネジメントはチームワーク（自分の強みを使う、人に助けてもらえばいい）、でも頼れない場面（修羅場）はある。
- ▶ 加盟国政府代表・専門家は利害関係者、仲間、交渉相手～鍛えられる論理的思考と交渉スキル
- ▶ 小さい国際機関ならではの経験～鍛えられるリーダーシップ
- ▶ 日本では起こりえないことが起こる世界



ウィーン時代の楽しみ

- 音楽（オペラ、コンサート、教会音楽の鑑賞）
- ワイナリー訪問
- 土曜日のマルクト
- 夏（と言っても9月）のバカンス（息子たちと）
- 小旅行（スウェーデン留学中の長男と）
- 週末のハイキング
- お正月のお節づくり＋紅白を見ながらの宴会

佐渡裕さんと@楽友協会

ウィーン時代の出来事

- CTBTO勤務は約6年（2013年12月～2019年9月）
- 手術2回、入院10回以上
- 交通事故1回(労災)
- 長男の交換留学・次男の休学
- パワハラ
- 派閥

色々あるものです

CTBTOからJAEAへ

- ▶ プロマネなら何でもやれるという妙な自信→**何となく**「次は組織マネジメントがやりたい」
 - ▶ 次男の休学（近くでサポートしたい） → **ISCNから課長
ポストオファー** → **帰任を決意**
 - ▶ 有期雇用の世界
- ▶ 2019年10月、JAEA 旧核不拡散・核セキュリティ総合支援センター(旧ISCN) 能力構築国際支援室長
 - ▶ アジア向けの核不拡散・核セキュリティ分野の人材育成支援事業の実施責任者、ISCNリクルーター)
- ▶ 2020年3月からコロナ禍で海外渡航不可
 - ▶ 4月にいち早くオンライントレーニング開発に舵を切る。10月、11月に本分野で初めてとなるオンライントレーニングを2種類実施し成功
 - ▶ 人材確保：夏期休暇実習の受入れテーマを拡大（1テーマ⇒5テーマ）、「ISCN夏の学校」、ウェビナー形式の「学生セッション」
- ▶ オンライントレーニングのために開発したツール・手法はコロナ後の対面型トレーニングの効果向上にも役立つ → **理事長表彰4年連続5件、文科大臣表彰1件**
- ▶ 大型予算を獲得してトレーニング施設をアップグレード

旧ISCNセンター長から新ISCNセンター長に

- ▶ 2024年4月に旧ISCNセンター長就任
 - ▶ 内示をもらった時、「ヤダ」、前センター長に説得され。。。
- ▶ 4月～8月：経営の新方針とセンターの方向性を合わせるための役員との議論
 - ▶ **必死**についていく。センター幹部に助けられて共同戦線。
- ▶ 8月：ようやく合意に達した。。。瞬間。。次の**無理難題**。。
 - ▶ 旧原子力人材育成センターとの統合指示：「統合が最適解か？」（天邪鬼）
- ▶ 10月：議論の末、4月統合に向けて取り組むことを決意
 - ▶ チームを作って新センターのミッション、ロードマップ、組織設計、名称、ロゴ。。。。
 - ▶ 旧核不拡散科学技術センター設立時の事務局経験
- ▶ 2026年4月：計画通り新ISCN設立、初代センター長就任
 - ▶ 人員不足、人材確保、居室の引っ越し。。。。
 - ▶ まだまだやることは山積み、でも業務はある、だから「走りながら考える」
 - ▶ 新たな**無理難題**は続く。。。

センター長として思うこと

- ▶ 正解のない課題に向き合う場面、孤独感を感じる場面は増えた。
- ▶ 経営の思いを共有できているという手ごたえ
 - ▶ 視座が変わった瞬間
 - ▶ 経営陣が見ている風景を垣間見る
- ▶ 上司とは能力・才能が大きく違うのではない、見ている風景とさらされている情報の量と質が違う
 - ▶ だから信頼していい
- ▶ 経営（上司）とセンタースタッフに対しては信頼と感謝
 - ▶ 「仕事をする」→「当たり前のこと」当たり前のことを当たり前にしてもらえるということは、本当にありがたいこと。
 - ▶ 役員(上司)が伝えよう・共有しようとしてくれることは、本当にありがたいこと。
- ▶ いい組織にしたい！
 - ▶ 皆が前向きに仕事ができ、（正しい）成果が出て、その成果がちゃんと評価される。
 - ▶ いいアイデアが出て、それをチームで実現できて、良い成果がでる
- ▶ 実際には「こうすると良い」と思うことの半分ぐらいしかできそうにない。

次の世代の皆さまに役に立つ（立たない）かもしれないポイント

▶ ポジティブセンテンス

- ▶ 否定文「...できない」→肯定文「...であればできる」の言いかえ
 - ▶ 例：「今日中にできません」→「明日でいいですか？」（明日であればできます）
 - ▶ 例：「靴を脱ぎっぱなしにしないで」→「靴は揃えて」

▶ 前向き発想

- ▶ 「やらなければならない」→「やってから、〇〇しよう」（目線をその先に）
 - ▶ 例：「今日中にプレゼン作らなきゃ」→「プレゼン作りを終わらせて、美味しいものを食べるに意向」

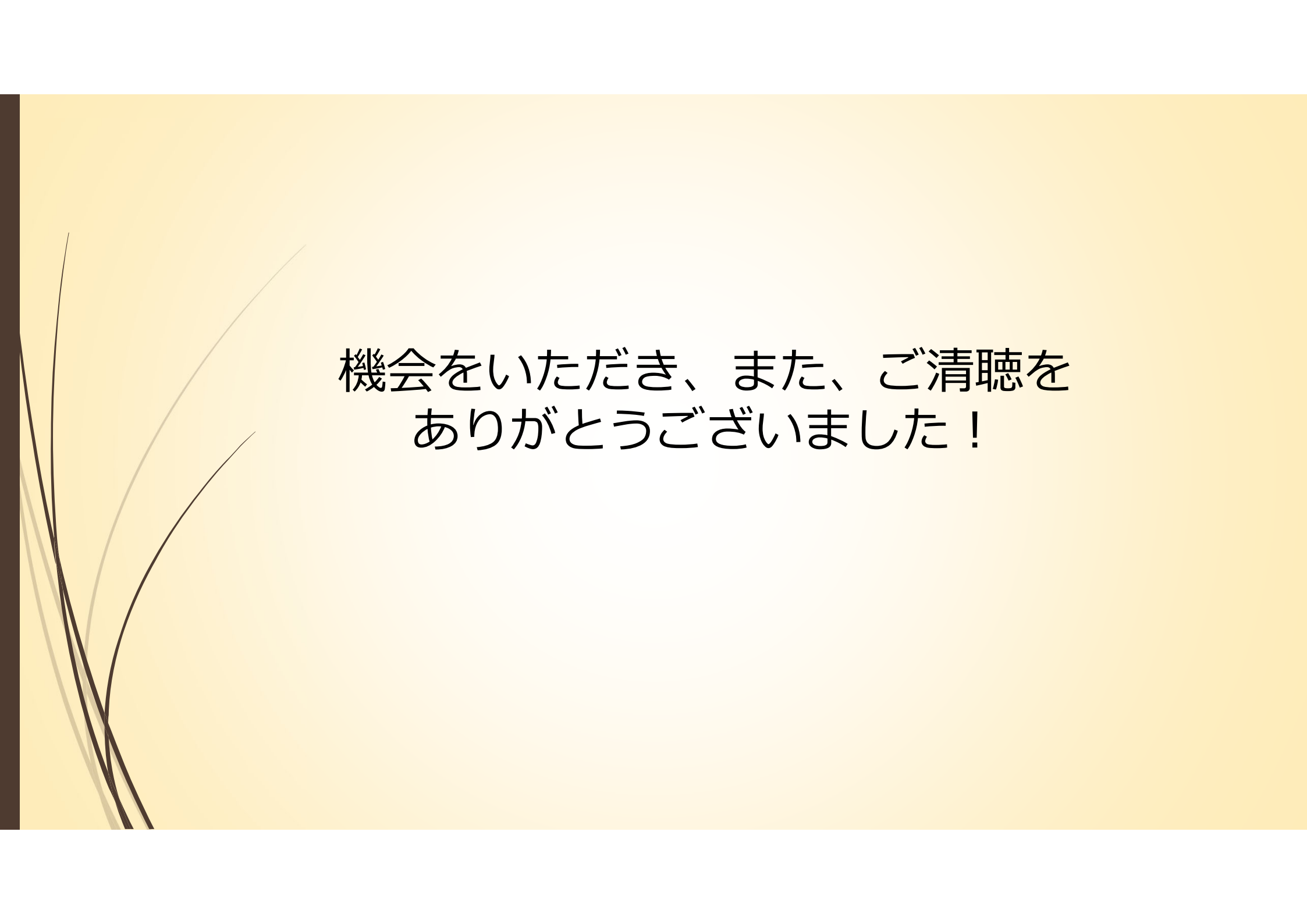
▶ 仕事は「やりたいこと」 < 「向いていること」

▶ 「相手の立場」で考えてみる

- ▶ 交渉・調整ごと：カウンターパートが上司にどう報告したいのか？
- ▶ ネガティブなことを言われた時：相手にも何か事情があるのだろう

▶ 自分事と他人事（アドラー心理学）

- ▶ ストレスが減りました。



機会をいただき、また、ご清聴を
ありがとうございました！